

# CELLISSIMO

http://kobe-cello.com http://www.icc-inkobe.com/

International Cello Congress  
in KOBE 2005  
in association with the American Cello Council  
~ 1000 Cellists Concert ~



## ◎特集 2005インターナショナル・チェロ・コンGRES チェロの一大祭典、開催間近

1998年11月29日、2001年7月29日の2回にわたり、神戸で開催された「1000人のチェロ・コンサート」。特に2回目は7カ国のマエストロチェリストによるコンサートや公開レッスンを、そして、最終日には15カ国からの参加者で「1000人のチェロ・コンサート」を行ない、大会名誉総裁の高円宮憲仁親王殿下も一緒にチェリストとして出演されましたことは、記憶に新しいところです。

そして、今年、風薫る5月16〜22日に神戸で開催される「2005インターナショナル・チェロ・コンGRES」。折しも阪神・淡路大震災からちょうど10周年。このメモリアルイヤーにこれまでで最大規模のチェロの一大祭典が開かれるわけです。

最終日にはお待ちかねの「1000人のチェロ・コンサート」が大友直人氏、そしてロストロポヴィチ氏の指揮で開催されます。すでに、そのための分奏練習が各地区で行なわれ、素晴らしい響きとなる輪ができあがりつつあります。

そこで、今回の会報では、各地の分奏練習の様と期間中の各イベント内容、そして参加者の期待の声、さらには神戸のグルメガイドまで、盛りだくさんに用意してお届けします。

### 2005 2/12 笠岡地区分奏

第3回「1000人のチェロ・コンサート」の地方分奏を計画し、その第1回目の練習を、岡山県笠岡市市民生活支援センター「この指とまれ」で、午後1時30分から午後5時30分まで行なわれました。風邪を引いて体調を崩され欠席の連絡があった人などもあり、予想よりも少ない岡山県内からの10人の参加でした。

初練習なので、今回演奏するすべての曲のイメージを掴むことを目的にして、全曲弾いてみました。今回は、1000チェロでは初めてという曲がかなりあり、皆さんかなり手こずっていました。特に、最後の「ハムレット・バラード」は難解な曲で、もっと練習が必要だと感じました。まだまだ未熟者です



分奏リーダー中村康乃理の指導により、2/12 (土) 笠岡市市民生活支援センター「この指とまれ」で行なわれた第1回目の笠岡地区分奏の様子です。同じ場所で2/19、2/26、3/6にも行なわれました。今後は3/26、4/2、4/16にも分奏が行なわれる予定です

が、今回は分奏リーダーという大役を引き受け、大変勉強になっていきます。

1月の神戸での公式練習に参加し、いろいろと注意事項をメモして帰りましたが、初めての曲に関しては、自分自身でまだ十分理解できていない状態です。「第1回公式練習指導内容」がありますが、分奏リーダー向けのより詳しい指導要領みたいなものがあるといいなと思います。

今回初めて参加した中学2年生の江島直之君は、「4パートでメロディ部分が少ないのでイメージがわきにくいけど、がんばります。この催しは、いろいろな人と一緒に弾くことも楽しみだけど、凄いプログラムがいっぱいあるので、できれば聴いてみたい。学校を休めないのが残念ですが」と話していました。

次回の練習からは、曲目を絞って掘り下げて練習していく予定です。途中からでも参加していただけるように、公



### 2005 2/6 東京公式練習

東京での公式練習はすでに2回終了。引き続き、5月に開催します。旧知のメンバーは旧交をあたため、初参加のメンバーと一緒に楽しくアンサンブルに励んでいます。



山崎謙之先生による指揮で26 (日) に港区立青南小学校で行なわれた東京公式練習には多くの参加者が集合。みなさんの熱気が感じられました



# 平和への願いを胸に世界のチェリストが集います。

誌面の関係ですべてを紹介できませんがこの他にも天童、松本、栃木で、北小岩、千葉、川崎、豊田、京都、広島、龍野、小倉、佐賀と、全国各地で分奏が続いています。

## 2005 2/13 大阪地区分奏

2月13日メイシアター、第1回大阪分奏には京都、奈良、兵庫県の明石・三田、大阪の交野、かなり遠方から19人が集まりました。参加者の一人・関西シティー(アマオケ)のTさんに当日進行役を引き受けてもらい、夜9時まで練習しました。各パート最低1人ずつ揃っていたので、12パートに分かれる曲を含め、全部合奏しました。

ダヴィッドフは「今日は棒がなくて、あまり遅いと拍が分からなくなりそう」なので少し速く弾いてみたのですが、「へえ、この曲いいねえ」の声が。ゴルターマンも「この間の神戸の練習よりきれい！」と。

第1回の神戸公式練習のときは、各曲について一度きりしか通ず時間がなく、参加者に「どんな曲なのか、よくわからない」という不満が残った(私も)のですが、それは解消されたようです。ヴィヴァルディは京都のTMさんに、「...この曲レッスンで、したんちやう?」「うん、した」ということでソロパートを弾いてもらったところ、実に確かな弾きっぷりで演奏終了と同時に大人一同「やんや」の大喝采でした。最後に、TさんUさん、そして私の大好きなクレンゲルをもう1回だけ通して、大満足のうちに大阪分奏を終えました。

## 2005 2/26 大分地区分奏

大分では2月26日(土)に「1000人のチェロ・コンサート」に向けて、分奏が行なわれました。大分での分奏は3回目です。

今回は大分軍団のメンバーだけでなく、熊本や、遠く岡山からも練習に参加してくださいました。

練習は午後4時に始まり、手始めに旧曲のおさらりからスタート。大分での分奏も3回目なので、なじみのある曲は合奏が上手になり、曲の体裁が整って来ました。新曲はまだまだ発展途上です。

ヴィヴァルディは主旋律がないとわかりにくい曲で、数回合わせた後、一人が主旋律を弾いて皆で伴奏をする形式で練習しました。「フラトレス」はラジオがまだ音にならず、苦戦しています。「ハムレット・バラード」は最後まで通すことはできませんが、皆はまだ曲を把握していません。

悪戦苦闘しながら、休憩を挟んで午後9時過ぎまで、5時間の練習でした。その後は熊本、岡山からの参加者をねぎらって壮行会。「5月に向けてがんばろう」の乾杯と、「いつもながらの乗り」で楽しい夜を過ごしました。



＜No.010077・雨宮伸＞

## International Cello Congress in KOBE 2005

パンにはワルさい!  
「おいしいパンがあれば毎食でも構わない」と豪語する人が周りには結構います。確かに神戸にはパン屋さんが多い! ちょっと前までは山食が神戸のパンというイメージだったのですが、最近ではフレンチ、イタリアン、デニッシュ、天然酵母など、バラエティに富んでいます。ちょっとお値段が高めですが「ブランジュリー・コムシノワ」(レストラン併設・078-242-1506)のデニッシュやクロワッサン、「ハウネベヤ」(078-391-3337)の石挽ショウガパンやイチヂクパン。「ピゴの店」は何店舗かある中の三宮国際会館地下(078-230-3367)。ちなみにウチでは「ケルン」(078-291-0556)の上海地という食パンと天然酵母ルヴァンが定番です。

## 神戸編集人の勝手きままな神戸の街グルメガイド

私のお気に入りには「蛸の壺」(078-392-7366)。日本酒がいろいろあって、パオピンなどの軽い中華メニューや蛸飯も楽しめます。

来たる5月にCCCが行なわれる神戸は年間2500万人以上が訪れるという観光都市。それだけに見所やグルメスポットも大変多いのですが、ここでは神戸人として個人的なおすすりグルメをピックアップさせていたたきました。既存のガイドブックと併せて参考にしてください。

明石焼って何?  
形が丸くてタコが入っている、そこまでは大阪名物タコ焼きと一緒。でもタコ焼きが小麦粉主体であるのに対し、玉子焼きとも言われる明石焼は卵が主役。アツアツをソースじゃなくてダシ汁につけて食べます。有名なのは明石市の老舗「きむらや」(078-911-8320)や「よこ井」(078-913-0089)。明石へは神戸の中心地から快速で20分ほどですが、三宮・元町にもいくつかお店があります。

喫茶繚乱の元町と灘五郷  
元町から神戸駅あたりまで続く元町商店街には新旧取り混ぜていろいろとお店があり、時間があればウロウロ。裏通りにはジャズ喫茶もいくつかあり、5丁目には「アマデウス」(078-371-0835)というクラシックライヴをやっているカフェもあります。

三宮以东ならば酒蔵のあるあたりが、おもしろいのではないのでしょうか。灘五郷は今津郷・西宮郷・魚崎郷・御影郷・西郷とありますが、個人的には好みの味のある御影郷がナンパーワン。「福寿」直営のレストラン「さかばやし」(078-841-2612)は酒蔵の雰囲気も楽しんでおすすめです。

みんなでチャイナ  
三宮・元町あたりからなら「トアロード」あたりに「中国酒家」(078-391-5537)・「バトナム中華の「鴻華園」(078-231-7079)・台湾家庭料理の「杏杏」(078-322-3339) (中華粥が美味しい)など、中華料理のいい店が多くあります。南京町に行くのなら「チャイナカフェ」椿茶藝館」(078-333-1101)や「洋菓子の「エストロヤル」(078-391-5663)・「シュー・ア・ラ・トリュフが美味しい」がおすすめです。ギョーザは元町の「瓢たん」(078-3910384)味噌ダレがおいしい。

洋菓子天国 KOBE  
神戸はケーキのイメージがことのほか強いのだそうです。「ダニエル」(078-843-5020)、「アンプレション」(078-856-4600)、「高杉」(078-811-2934) など全国的にも有名になりつつある実力派が、神戸東部、住宅街である御影から住吉あたりにたくさんお店を出しています。でも一番神戸っぽくて美味しいと思えるのは「元町ケーキ」(078-311-0883)。最も有名なザクロは元町大丸の地下で買えますが、その他は元町本店あるいは芦屋の店でしか買えません。

ゲリー・ホフマン アルト・スズキ ヤシロ・シメタ フリッポ・ミレ マク・コヴァ マリア・クリナル ルイス・クラベト ムステイラフ・ロストロボウチ ダーウィット・ケリン ベルナルト・直樹 へま・ボルグ 松修也 堀川 翠明 グリン・スズキ ヤマ・クルルン 向山佳孝

# 毎日、綺羅星のごときラインナップ。会期中、音楽への愛、

日程・場所のくくりは、カテゴリ別になっています

**5月16日(月)18:00 開演 神戸国際会議場メインホール**

## オープニングデュオコンサート

ヤーノシュ・シュタルケル&堤 剛/ボッケリーニ:2つのチェロのためのソナタ ハ長調 G74 ヤーノシュ・シュタルケル/ベートーヴェン:チェロ・ソナタ第2番ト短調作品5の2 PE練木繁夫

**5月17日(火)19:00 開演 神戸国際会議場メインホール**

## グランドコンサートI

松下修也/黛 敏郎 BUNRAKU (1960)、倉田澄子/フォーレ:エレジー (悲歌) 作品24、倉田澄子&フィリップ・ミュレル/ヘンデル:2つのチェロのためのソナタ ト短調作品20の8、斎藤建寛/ドビュッシー:チェロとピアノのためのソナタ、ピアソラ:ル・グラン・タンゴ、アルト・ノラス/ラウタヴァーラ:2つのプレリュードとフーガ (1955)、コッコネン:チェロとピアノのためのソナタ (1976)、山崎伸子/ブラームス:チェロ・ソナタ 第1番ト短調作品38、チョン・ミュン・ファ/イ・ヨンジョ (李永朝):チェロとチャングのためのドードゥリ、バーバー:チェロ・ソナタ 作品6 PE上田晴子、ダニエル・アドニ

**5月18日(水)19:00 開演 ポートピアホール**

## グランドコンサートII

林 峰男/ショスタコーヴィチ:チェロ協奏曲第2番ト短調作品126、ラルフ・カーシュバウム/ドヴォルザーク:チェロ協奏曲ト短調作品104B.19L、ダーヴィッド・ゲリンガス/シェンデロヴァス:“Do”の協奏曲 (2002)、マリア・クリーゲル/エルガー:チェロ協奏曲ト短調 作品85 指揮現田茂夫 管弦楽関西フィルハーモニー管弦楽団

**5月19日(木)19:00 開演 ポートピアホール**

## グランドコンサートIII

岩崎 洸/ハイドン:チェロ協奏曲第2番ニ長調作品101 Hob.VIIb2、マーク・コンヴァ/バーバー:チェロ協奏曲作品22、ゲイリー・ホフマン/サン＝サーンス:チェロ協奏曲第1番イ短調作品33、堤 剛/チャイコフスキー:ロココ風の主題による変奏曲イ長調作品33 指揮現田茂夫 管弦楽関西フィルハーモニー管弦楽団

**5月17日(火)14:00 開演 神戸国際会議場メインホール**

## 午後のベートーヴェン

林 俊昭/ベートーヴェン:チェロ・ソナタ第5番ニ長調作品102の2、ルイス・クラレット/ベートーヴェン:チェロ・ソナタ第4番ハ長調作品102の1 PE林由香子、上田晴子

**5月18日(水)14:00 開演 神戸国際会議場メインホール**

## 午後のベートーヴェン

ベルンハルト・直樹・ヘーデンボルク/ベートーヴェン:チェロ・ソナタ 第3番 イ長調 作品69、ミローシュ・ムレイニク/ベートーヴェン:チェロ・ソナタ 第1番 ハ長調 作品5の1 PE上田晴子、ダニエル・アドニ

**5月17日(火)17:00 開演 神戸国際会議場メインホール**

## 夕方のバッハ

酒井 淳/J.S.バッハ:無伴奏チェロ組曲第1番ト長調BWV1007、石坂 亘十郎/J.S.バッハ:無伴奏チェロ組曲第2番ニ短調BWV1008

**5月18日(水)17:00 開演 神戸国際会議場メインホール**

## 夕方のバッハ

佐藤 光/J.S.バッハ:無伴奏チェロ組曲第3番ハ長調BWV1009、趙 静/J.S.バッハ:無伴奏チェロ組曲第4番変ホ長調BWV1010

**5月19日(木)17:00 開演 神戸国際会議場メインホール**

## 夕方のバッハ

フィリップ・ミュレル/J.S.バッハ:無伴奏チェロ組曲第5番ハ短調BWV1011、藤原真理/J.S.バッハ:無伴奏チェロ組曲第6番ニ長調 BWV1012

**5月19日(木)13:30 開演 神戸国際会議場メインホール**

## チェロアンサンブルコンサートI

### “CELLOX2”

ニーノ・ロータ:81/2、ニーノ・ロータ:甘い生活、デューク・エリントン:ドント・ゲット・アラウンド・マッチ・エニモア、ニール・ヘフティ:リル・ダーリン、アンヘル・ピロルド:エル・チョコロ (キス・オブ・ファイヤー)、アストル・ピアソラ:リオ・セナ (すべて” CELLOX2” 編曲)

### ソウル・チェリステン

マックス・ブルッフ:コル・ニドライ、ゴルダーマン:セレナーデとロマンス

### 向山佳絵子&ダーヴィッド・ゲリンガス

ハイドン:2つのチェロのための二重奏曲 二長調

### ミュンヘン・フィルハーモニック・クアルテット

星条旗よ永遠なれ、ベラミ、“ジェームズ”・ヴァン・“ボンド”ーヴェン:交響曲第5番、ハルデンベルク:タンゴ、ハルデンベルク:小さな鉄道、クレンゲル:即興曲

**5月20日(金)13:30 開演 神戸国際会議場メインホール**

## チェロアンサンブルコンサートII

### 桐朋学園チェロアンサンブル (有志による)

ロッシニ:「セビリアの理髪師」より序曲、鷹羽弘晃:蛭なす ほかにご聴きて 一日本の旋律による音風景 他

### 「The Cello」(東京藝術大学生有志によるチェロアンサンブル)

グリーク:組曲「ホルベアの時代より」 作品40他

**5月20日(金)15:00 開演 神戸国際会議場メインホール**

## スズキ・メソッド チェロ10チルドレンコンサート

～15歳以下の生徒たちの独奏と合奏～※無料 (要整理券)

チャイコフスキー:ロココ風の主題による変奏曲イ長調作品33、サン＝サーンス:チェロ協奏曲第1番イ短調作品33 他

講演「どの子も育つ教育法」 (社)才能教育研究会会長 豊田耕児

※2011の「チェロアンサンブルコンサートII」をご鑑賞いただいた方は、引き続き「スズキ・メソッド チェロ10チルドレンコンサート」をご鑑賞できます。桐朋学園チェロアンサンブル、東京藝術大学生有志によるチェロアンサンブルの演奏者の中にはスズキ・メソッドの卒業生も数多くおります。将来有望な若く演奏者のみならず、演奏をお楽しみください。

**5月21日(土)15:00 開演 ポートピアホール**

## スズキ・メソッド チェログランドコンサート

～3歳から大人まで約300名の大合奏～※無料 (要整理券)

ハイドン:チェロ協奏曲ハ長調(スズキストリングオーケストラ伴奏による)、フォーレ:エレジー (悲歌) 作品24、サン＝サーンス:白鳥

※5/20,21のスズキ・メソッドのコンサートは未就学児の入場が可能です。ただし保護者の方の同伴をお願いします。

**5月22日(日)14:00 開演 神戸ワールド記念ホール**

## 第3回1000人のチェロ・コンサート

〈指揮〉ムスティスラフ・ロストロポーヴィチ、大友直人

〈コンサートマスター〉林俊昭

スズキ・メソッドの子どもたちとの共演曲

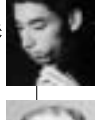
ヴィヴァルディ:チェロ・ソナタ第5番ト短調、スズキメドレー/リゴドン (パーセル):〜かすみか雲か〜むすんでひらいて〜フランス民謡

ゴルターマン:レリジョーソ、クレンゲル:讃歌、フランク:組曲ニ長調、ペルト:フラトレス、ヘンデル:パッサカリア、三枝成彰:新委嘱作品 または チェロのためのレクイエム、ダヴィッドフ:讃歌、シチエドリン:ハムレット・バラード (委嘱作品初演)

**5月17～19日(火～木)12:15 開演 神戸ワールド記念ホール**

## プロミシングチェリストコンサート ※無料

インターナショナル・チェロ・コンGRESS実行委員会が、世界で今現在注目されているものの、まだコンサートの機会が少ない将来を有望視されている若手にその場を提供したコンサートです。





# 参加者の声

■還暦を迎えたある日、「今度生まれてきた時はチェリストになりたいね」と何気なく言ったとき、妻の「今から練習してみたら」の言葉で始めました。3年目に入り、朝晩の練習と同時に2歳の孫が保育園で覚えたきた歌に合わせて弾くのが楽しみです。(熊本県男性63歳)

◎再び神戸にて「1000人のチェロ・コンサート」開催となり、原点に戻ったようですね。皆の音が重なり、うねりとなって平和への祈りに導いて行った思いが昨日のことのように思い出されます。あの時の思いと緊張感と皆の力を感じ取りたくて、参加

しようと思いました。よろしくお願ひします。(石川県女性41歳)

■チェロには、人生の上で助けられました。この楽器ともし出会わなかったら心の闇に落ちていたことでしょう。それぐらい魂をゆさぶる感情的な音の楽器です。ありがたい！(愛知県男性49歳)

■これまで2回にわたり「1000人のチェロ・コンサート」に参加し、大聖堂の中で鳴り響く荘厳な音の中に自分がいるような、一生忘れ得ぬ感動を体験しました。阪神大震災10周年の年に、再びその感動を味

わえることを楽しみにしています。(兵庫県男性58歳)

◎初めて参加するので少し緊張していますが、心をこめて弾きたいと思えます。(神奈川県女性11歳)

◎子育てを終えてから晩学でも弾きたかったのですが、どうにかこうにか、今、室内楽が生活の一部になっています。(千葉県女性63歳)

■多くの一流プレーヤーと至福の時を共有できるのは望外の喜び。これを機に初心に帰り、新たな目標に向け精進したい。よろしくお願ひします。(静岡県男性56歳)

◎夢の初参加です！前回は東京から深夜バスで神戸に駆け付け、観客席で感動をもらいました。(東京都女性50歳)

■チェロを始めてまだ3年の幼稚園の年長の男の子です。なかなか上達しませんが、細く長く、そして楽しくチェロを続けていきたいら...と思っております。先生からのおすすめで、「1000人のチェロ・コンサート」への参加を親ともどもとても楽しみにしております。どうぞよろしくお願ひいたします。(京都府男性7歳)

■ぼくは4歳からほぼ7年間チェロをやっています。チェロ教室とヴァイオリン教室を見学に行つてチェロがすごくいい音色でびっくりしてチェロを始めました。3年生の時、クラスでチェロをひいて、3年生の最後には学年全体の前で授業参観でエックレスのソナタをひきました。拍手をたくさんもらえてじょうずだったねといわれてとても心に残りました。「1000人のチェロ・コン

サート」のビデオや本を見たことがあるのですぐドキドキしています。(愛知県男性9歳)

◎祖母・母の勧めでチェロを始めたのが小学3年生。やる気になったのは中学2年生本当に「遅かった」と後悔することがよくありますが、それでもチェロが好きで周りとかではない自分自身の音を出したい！と思つて続けています。うまい人はたくさんいるし、何だか恥ずかしく思う時もあるけど、自分は自分のパートナーと向き合つて黙々とそして楽しく演奏していきたいと思えます。もちろんうまくなりたいから、今回のコンサートで周りの人の良い音を感じて自分にとつてプラスの刺激を受け、また与えられたらと思つていきます。(埼玉県女性18歳)

◎ロストロポーヴィチさんの倉敷でのコンサートを聴きに行つていた母がコンサートの途中で産気づき、翌日に予定日より2週間も早く私が生まれたと聞いています。父はお腹の中で聴いたチェロの素晴らしい音にいてもたつてもいられなくて、外にでたくなつたんだらうと言っています。そのロストロポーヴィチさんに逢えるとは夢のようです。とても楽しみにしています。(高知県女性13歳)

◎「1000人のチェロ・コンサート」は以前から興味があつたので、参加できるところがうれしいです。大勢のチェロ奏者と一緒に練習できるのが今からとても楽しみです。(東京都女性20歳)

■チェロを始めて早や5年が経ちました。大人(かなり大人)になってから始めましたので腕前はご想像にお任せしますが、大人になってから始める人を根気良く指導してくださる先生や、良き仲間にも恵まれ、チェロアンサンブルのコンサートにも参加できるようにになりました。今ではチェロがすっかり

生活の一部になってきています。あこがれの「1000人のチェロ・コンサート」は今回が初めての参加になりますが、練習会なども含め、参加される皆様とチェロを通じて交流できることを楽しみにしています。(愛知県男性57歳)



ICC大会名誉会長でもあるムステイスラフ・ロストロポーヴィチの指揮による「1000人のチェロ・コンサート」は大変な人気。ご本人も楽しみにされている

■山口大学勤務時代に、第1回の「1000人のチェロ・コンサート」に参加しました。その翌年でしたか、50人の選抜メンバーのコンサートにも出していたので、楽しい経験をさせてもらいました。その後、東京を経て長野県松本の信州大学に転勤して、現在にいたつていますが、こちらでは縁あつて才能教育研究会(スズキ・メソッド)の理事に就任し、今回のICCと協力することになりました。松本さんや白沢さんなど懐かしい方々に再会できることを楽しみにしています。(長野県男性61歳)

◎私は、11歳から20歳まで中国音楽学院で学び、26歳まで楽団で仕事をしています。

## “第1回チェロアンサンブル コンテスト in かさおか” ご報告

2002年に開催した笠岡チェロフェスティバルの中で行なったチェロアンサンブルコンテストがきっかけとなり、その後同様のコンテストを開催してほしいという声が上がってきたので、それを受けて2004年6月26日(土)に笠岡市保健センターギャラクシーホールで“第1回チェロアンサンブルコンテスト in かさおか”を開催しました。コンテスト実行委員会とNPO国際チェロアンサンブル協会およびかさ市民音楽協会が主催し、笠岡市・笠岡市教育委員会・笠岡市文化連盟ほか各新聞社と地元ケーブルテレビである笠岡放送が後援しての開催です。

地元岡山県からの3団体と兵庫県・福岡県・大分県からの3団体の合計6団体の参加



優勝した#c&b (神戸市)



c存知 大分軍団 (大分市) は第2位に



第3位のEnsemble Celler (福岡市)

で、チェロアンサンブルコンテストと杠(ゆずり)は純三郎先生指揮で参加者全員による合奏が行なわれました。

優勝は、2002年開催のチェロアンサンブルコンテストと同じ#c&b(神戸市)でした。上位3団体が表彰され、馬越審査委員長から賞状と賞品が授与され、優勝グループである#c&b(神戸市)による受賞記念演奏が行なわれました。このコンテストの様子は、笠岡放送が録画し、放映されました。

2005年は、神戸で「1000人のチェロ・コンサート」が開催されるので、チェロアンサンブル

コンテストは開催せず、2006年には“第2回チェロアンサンブルコンテスト in かさおか”を開催する予定です。「1000人のチェロ・コンサート」のない年には、毎年“チェロアンサンブルコンテスト in かさおか”を開催する計画です。皆様のご参加をお待ちしております。

<No.010074・中村幸太郎>

## チェリッシモ・ブラビッシモ！が「いつでも誰でもコンサート3/6」(川崎市教育文化会館大ホール)に出演

私たちチェリッシモ・ブラビッシモは、2002年3月に横浜で開催された「日韓親善チェロ・コンサート」でコンサートマスターとして活躍された佐久間豊春氏を代表に、同コンサート出演メンバー有志を中心に結成したチェロアンサンブルです。実行委員長を務められた横浜の沖正哉さんもメンバーとして活動されました。奇しくも2/6の1000チェロ東京公式練習の日に急逝された沖さんを偲びつつ、天国の高円宮殿下にも気持ちが届くようにと、三枝レクイエムやヒムヌスを演奏しました。

<No.010003・藤井直>

あれからチェロをあまり触っておりませんが、気持ちと実力は伴わないと思いますが、一度参加してみたいと思っております。(兵庫県女性46歳)

■阪神大震災の被災者でありながら、その後の転勤・多忙のため「1000人のチェロ・コンサート」には参加したことがありませんでした。震災10周年の今回はぜひともみなさんとともに神戸で弾きたいと思っております。(千葉県男性51歳)

◎私がチェロをはじめたことになった「これ！」というきっかけはないのですが、いつからかチェロの音色・深い響きに魅了されるようになり、自分でチェロを奏でたい！と思うようになりました。両親に聞いたところ、私が母のおなかにいた時、ヨーヨー・マのチェロをCDで聴いていたようで、その影響もあるのかもしれない。(東京都女性18歳)

◎チェロとの出逢いは、私立中学校のクラブに入学したときでした。その時たまたまチェロしか空いていなかったため、チェロを弾くことになりましたが、今やチェロなしに生活できなくなりました。大学のオーケストラを卒業した後も、母校の現役中学・高校生・大学生たちと共演したり、一般のアマチュアオーケストラで頼りなく弾かせていただいたりしています。チェロを始めたときに学校の先輩に教わったくらいで、ほとんど独学なのですが、この機会にいろんなチェリストの方と出逢い、その音楽に間近で触れてみたいと思い、初めての参加を決めました。皆で良い音楽を作っていきたいと思えます。どうぞよろしく願います。(兵庫県女性25歳)

■「1000人のチェロ・コンサート」をきっかけに知り合ったメンバーを中心にチェロアンサンブルを続けています。なんとリーダーは「日韓」のコンマスだった佐久間先生！

それ以外にも、大学オケの大先輩と10数年ぶりに再会したり、インターネットを通して「名前だけは知っていた」全国のチェロ仲間とお会いしたり、「1000人のチェロ・コンサート」は私にさまざまな「出逢い」をもたらしてくれました。

「出逢い」といえば、今回の演奏曲目にあるダヴィッドフの「讃歌」と出逢ったのも「1000人のチェロ・コンサート」がらみでした。「日韓」の翌日、カザルスホールで行なわれたソウル・チェリストの皆さんのコンサートでこの曲をはじめ聴き、いつかは演奏してみたいと思い、楽譜だけは手に入れたのですが、これまで演奏の機会がありませんでした。それだけに、今回、この曲が演奏できることは大きな喜びです。

ダヴィッドフと言えば、ヨーヨー・マの弾いているストラディヴァリウスの愛称の元になった名チェリストですよ。もし、チラシには載っていないヨーヨー・マが、突然、ダヴィッドフを持って現れたら！なんてことがあったら、ものすごいことになりそうです。

今回の日程を見ると、どうやら昔の師匠ともお会いできそうですし、今度の「1000人のチェロ・コンサート」では、どんな出逢いが待っているかとても楽しみです。

プロとして活躍中の方から「指板にテープを貼っている」人まで、老若男女、さまざまな人たちが「チェロを愛し、音楽を愛する」という共通点だけで、一緒に演奏しただけで、まるで古からの友だちのように親しくなるのも「1000人のチェロ・コンサート」ならではの、と考えています。

私は地方在住なので、正直言って「第2回」で最初に申し込んだ時には、「事前に何度も公式練習に参加するだけでも一騒ぎだな」と思ったのですが、「様子見」のつもりで参加した公式練習が楽しかったので、結局、規定の回数よりも余分に練習にも参加しました。チェロを弾くことができますよ、楽しくなりそうな予感とともに申し込みをします。(群馬県男性47歳)

# À.LA.CARTE

大島恵さん（左）と奥様のカミーユさんの素敵な工房です



大島さんは、アニメーターでは4歳の時から弾いているウデを生かし、第1ヴァイオリン奏者として去年から籍を置いておりますが、アニメーターのメンバーの楽器はすべて彼に委ねていると言っても過言ではないかもしれません。

〈No.010351・湯浅順子〉

10000人チエロの皆様  
公式練習、地方分奏にと、5月の本番に向けて、着々と準備を進めていらっしゃるご様子です。

まるで宮崎アニメ「耳をすませば」のよつな  
経歴の持ち主をご紹介しましょう

大島さんは、アニメーターでは4歳の時から弾いているウデを生かし、第1ヴァイオリン奏者として去年から籍を置いておりますが、アニメーターのメンバーの楽器はすべて彼に委ねていると言っても過言ではないかもしれません。

大島さんは、アニメーターでは4歳の時から弾いているウデを生かし、第1ヴァイオリン奏者として去年から籍を置いておりますが、アニメーターのメンバーの楽器はすべて彼に委ねていると言っても過言ではないかもしれません。

中学1年生の頃から弦楽器製作に目覚め、中学校卒業と同時にクレモナに渡り、国立クレモナ国際弦楽器製作学校を卒業し、引き続きクレモナに身を置き、楽器職人としての研鑽を積み、さらに弓の製作コースに進みました。

大島さんは、アニメーターでは4歳の時から弾いているウデを生かし、第1ヴァイオリン奏者として去年から籍を置いておりますが、アニメーターのメンバーの楽器はすべて彼に委ねていると言っても過言ではないかもしれません。



日々を過ごしています。フリーのプロチエロ奏者であるお兄様の楽器ももちろん、彼が調整を！そんな大島さんをメンバーに迎えたアニメーターは、鬼に金棒！

弦楽器工房 La Pergola  
〒719-0243  
岡山県浅口郡鴨方町鴨方2003-27  
tel/fax. 0865-44-3190  
http://pergola.liturgia.jp/  
10:00-19:00 日/祝休業

ただ綺麗な音が出ないときも、楽器のせいにはできなくなっていました。

<p>International Cello Congress in KOBE 2005 in association with the American Cello Council ~ 1000 Cellists Concert ~</p>	<p>音楽の質問箱 Q&amp;A ⑤</p>	<p>Q. どうして世界のロストロポーヴィチさんが1000人のチェロを指揮することになったのですか？</p>
---	---------------------------------	--

**とじっけ gourmet vol.5**

## 昇龍のジャンボ餃子

東京文化会館のある上野で、もし「ビールに餃子」と頭に浮かんだら、迷うことなくお勧めのお店が御徒町ガード下の「昇龍」。ここの餃子は通常30gといわれる1個当たりの重量が何と80g。大きさも13cmあります。それが4個で450円。一般的には一皿で十分な量です。ビールもあるわけです。ちなみに東京の餃子はブリッ、大阪がパリッ、福岡がカリッなのだから、「昇龍」の餃子は30年前から味が変わらないのも魅力。餃子だけのオーダー客が多いのも特徴の一つでしょう。個人的には、両親ともに満州で仕込まれた「たっぷりな豚ひき肉+ニラ+玉葱」に慣れた身としては、白菜を入れることが本当は許せないけど、冬でもTシャツ1枚で威勢よく餃を包む職人さんの声と絶えない行列、下町のガード下の独特な雰囲気には、つい足が向いてしまうほど。ある意味で、「昇龍」の餃子というのは、それを注文し、その大きさとボリュームを堪能することですでにイベントでもあるわけです。

●「昇龍」台東区上野6-10-14 tel.03-3832-0847  
11:30~21:00 水曜、第2火曜、年末年始は休み  
(No.010341・新巳喜男)

A. 1998年11月29日の第1回「1000人のチェロ・コンサート」のCDをロストロポーヴィチ氏は情報から知ったか、誰かのところで聴いたか、その音楽的グレードを評価してください。そして、「自分が生きていううちにぜひ1000人のチェロを指揮したい」というご本人の内から湧き起こる熱望がありました。

2000年の夏頃にP.フルニエ氏の奥様、順子さんから私の会社に電話がありました。「ようやく松本さんを見つけて、キャッチできましたわ。ロストロポーヴィチ氏があなたを探しておいでですよ。ぜひ、日本で逢って、お話をしたいと言っておられますが…」

こんなフルニエ夫人の仲介で、ロストロポーヴィチ氏がワシントン州の60歳の誕生日を祝いに日本に来たその年の秋に、松本市のホテルで私とロストロポーヴィチ氏が初めての出会いをしたわけです。

氏との話の間に及びました。その中で氏はさかんに「アレキサンダーはよくない、絶対にチェロのために書かれた、チェロアンサンプルのために書かれた曲を演奏すべきだ」と頑として譲りませんでした。

我々がアンコールで弾いた「白鳥」も「あれは台のチェロで弾くべきで、何百人も同時に弾くなんて、私は絶対に許さない…」とこんな調子でした。

今回のロストロポーヴィチ氏の「1000人のチェロ・コンサート」を指揮することを実現するまで、以後4回の面談を持ちました。氏は世界的作曲家のデュトワ氏、ベンテレスキー氏そしてシェドリン氏たちを私に紹介してくださいました。そうやってできたのがシェドリン氏への委嘱作品「ムレット・バラード」です。

ロストロポーヴィチ氏のチェロアンサンプルのオリジナル曲はこのような氏のかたくなと言えるほどの論議から生まれてきたものです。

5月22日の「1000人のチェロ・コンサート」でロストロポーヴィチ氏がどのようなタクトを振られるか、とても楽しみです。

(No.010001・松本巧)

# CELLISSIMO

会員が所属する市民オーケストラやアンサンブル団体をご紹介します。

## 所属オケ紹介Vol.5

### いかさ・アニマート・アンサンブル (岡山県)

創立●1998年12月  
団員●約30名 (内Vc6名)  
活動地域●岡山県笠岡市とその周辺市町  
活動内容●年1回の定期演奏会とその他の演奏会参加

会費●月3,000円 (学生は無料)  
練習●毎週土曜日 9:30~12:00  
お問い合わせ●事務局長 中村幸太郎  
tel. 0865-62-2888  
e-mail: kohtaro@kcv.ne.jp



直近の演奏会～ 5月 8日 第1回演奏会 (ギャラクシーホール)  
12月26日 クリスマス会 (この指とまれ)

1998年12月、『笠岡でも弦楽合奏をやりたい!』という無謀な考えの者たちが集まって、『とにかく、やってみよう!』ということからスタートしました。

子どもたち7人を中心にして、知り合いにも声をかけた結果、18人のメンバーが集まり、手探りの状態で始めていたところ、知人に「杠 (ゆずりは) 純三郎先生」を紹介していただき、さらにくらしき作陽大学卒業生と現役学生に講師として加わってもらい、現在の形になりました。

発足時は、子どもたちが参加しやすいようにということで、学生の会費を無料にし、練習日も学校が休みである第2と第4の土曜日の午前中 (10~12時) とし、公民館の集会所を借りて練習していました。

その後、笠岡市が市民活動を応援するために2004年4月に市民活動支援センター「この指とまれ」を設立させたのを機に、設立時からそこを借り受け、毎週土曜日の午前中 (9:30~12:00)、ここを本拠地として練習しています。第2と第4土曜日は、杠純三郎先生のご指導のもとにアンサンブルを、それ以外の土曜日は、講師の指導により細やかな技術面にこだわった練習を行なっています。



メンバーの中には、中学校卒業直後、クレモナに渡って15年間弦楽器作りの修行をし、帰国後工房を開設しているという専門家もいて (右頁で紹介しています!)、何かあったときには楽器のメンテナンスをすぐにお願ひできるという状況です。

まだまだ未熟な小編成の弦楽合奏団ですが、編曲もでき、アンサンブル全体の指導をしてくださる指揮者と各パートに音楽を専門に勉強した講師、さらに弦楽器作りの専門家もいるという非常に恵まれた環境です。

チェロパートのメンバーは、第1回の1000チェロかきかけとなって結成された「チェロアンサンブル関人会 (かんじんかい)」に全員が所属していて、アニマートの練習終了後も、13:00から2時間余りチェロアンサンブルの練習をしています。もちろん、今回の1000チェロへも参加予定で、このメンバーを中心にこの場所で、地方分奏を計画しています。

発足時には7人いた子どもたちもそれぞれに成長して巣立っていき、現在は超初心者を含めて大人を中心としたグループへと構成が変わってきていますが、2004年5月8日には、笠岡市保健センターギャラクシーホールで第1回演奏会を開催することができ、今後は年1回の定期演奏会を開催することを決め、広く団員募集をしています。

演奏会のあとは、当然、打ち上げがあります。「演奏会のない打ち上げはあっても、打ち上げのない演奏会はない!」という考えの宴会部長を中心に、随時、いわゆる飲み会を開催し、団員間の意思の疎通を図り (?) 親睦を深めています。和気藹々とした楽しいグループだと勝手に思っています。

楽器が弾ける人はもちろん初心者の方も、興味のある方はどなたでも、一度、練習場を覗いてみてください。

〈No.010074・中村幸太郎〉

## 編集人的ナナメヨミ雑音記

### 第5回 ドキュメンタリーは面白い

受験とは無縁ののんびりとした生活を送っていた中・高生時代は、映画や芝居に夢中になっていました。当時、授業をさぼってまで見に行こうという友人は少なかった中で、Yさんも私もよく「急に気分が悪くなって」教室からいなくなったり、結託してアリバイ作りをした記憶がある。若くして映画配給会社を興し、その後ずっとインターナショナルな活躍をしている彼女とはさすがに会うこともあまりなくなりましたが、付かず離れずで手紙やメールのやり取りは続いている。

年末から東京を皮切りに公開されている『ベルリン・フィルと子どもたち』は、一昨年、ベルリンに拠点を移したそのYさんが監製したドキュメンタリー映画。各地でも今後公開される予定になっている。「子どもたちにもっと音楽の素晴らしさを感じてもらいたい」とサイモン・ラトル氏が呼びかけて発足した教育プロジェクトの一つが年に一度のダンスプロジェクト。クラシックに縁のなかった250名の子どもたちがバレエ『春の祭典』を完成させていく

までの6週間がこの映像上で展開される。

映画の世界がちよっとしたドキュメンタリーブームであるのとは別に、最近是个人的にも、過剰な演出の映画よりも淡々とした作品を好むようになった。こってり味よりあっさり味、技より素材に興味に向いているのかも。良質のドキュメンタリーを次々と提供し始めた彼女もまた、同じ方向を向いているのかもしれない。先日、「ベルリンのレストランでなぜか『1000人のチェロ・コンサート』のチラシを



『ベルリン・フィルと子どもたち』今後の上映予定  
3/19 (土) ~静岡サールナートホール・シネギャラリー、4/2 (土) ~岡山シネマ・クレール、4/13 (水) ~浜松東映劇場、4/23 (土) ~神戸アートビレッジセンター、シネ・リエンテ (愛媛)、シネモンド (金沢)、5/14 (土) ~新潟シネウインドシネマテークたかさき、5/21 (土) ~福島フォーラム、6/11 (土) ~伊勢・新富座《間》セテラ・インターナショナル tel:03-3715-5775 http://www.setera.co.jp/

見た。この映画の趣旨と似ているところがあるかも…」とメールが来ていた。It's a small world! 地球の裏側にいても、まだまだYさんとは付かず離れずの関係が続きそうである。

### 音楽関係にはドキュメンタリーがいっぱい

■『サイモン・ラトル・ベルリン・フィルへの軌跡』(ニコラス・ケニヨン著) 音楽之友社 / サイモン・ラトル評伝。幼少の頃からベルリン・フィルの芸術監督に就任するまでをインタビューと証言により構成。

■『パリ左岸のピアノ工房』(T.E.カーハート) 新潮 Crest ブックス / パリに住み着いたアメリカ人作者が訪れたカルチェ・ラタンのピアノ工房。そこで出会ったさまざまな人をめぐる話、楽器職人の世界が綴られている。

■『僕もかたして指揮者になったのか』新潮OH!文庫 / 2005年秋、始動する兵庫県立芸術文化センターの芸術監督・佐渡裕氏の半生。「ライブ・キャン・ビー・ビューティフルや!」関西ノリのエネルギー溢る語り口が何とも言えずおかし。

〈No.010112・編集人たばた〉

# information board

## 掲 示 板

### concert

3月24日(木) 19:00 東京・浜離宮朝日ホール  
『至極のハーモニー ラ・カルティエナ (La Quarta)  
N響チェロの四重奏はこんなにいい感じ』  
ラ・カルティエナ (藤森亮一、藤村俊介、銅銀久弥、桑田歩)  
曲目:Jクレンゲル:主題と変奏、Jヨングン:4本のチェロのための2つの小品、J.S.バッハ:シャコンヌ、Eフランチェニ:やってきた彼女、Mモーレス:プエノス・アイレスの喫茶店、Mモーレス:クリスタル、I.アルベニス:タンゴ、I.アルベニス:カディス、チャルロ:フェジェ、Mモーレス:ラ・カジェシータ、Hバレラ & Aネリー:エルク・58  
入場料:一般¥4,000 学生当日¥2,000  
《問》朝日ホールチケットセンター 03-3267-9990

4月1日(金) 18:30 京都府立府民ホール アルティ  
京都フランス音楽アカデミー アンサンブル・スペシャル・コンサート 2005  
音楽監督・Vn:森 悠子、アレクサンド・モッチア、レジス・ハスキエ、Va:ジャン=フィリップ・ヴァサール、Vc:フィリップ・ミュレル、アレット・ズヴェストラ、Fl:フィリップ・ベルノルド、Ob:ジャン=イブ・カベツァリ、Pf:芸術顧問クリスチャン・イヴァルディ、Pfオリヴィエ・ガルトン、バリトン:フランソワ・ルルー  
曲目:ミヨー:スカラムーシュ op.16b、オンスロウ弦楽四重奏曲ト短調op.91、サン=サーンス:オーボエ・ソナタニ長調 op.166、ラヴェル:マダカスカル先住民の歌、ルクエ弦楽四重奏のためのモルト・アダージョ嬰へ短調 他  
入場料:¥4,000 (全自由)  
《問》エラート音楽事務所 075-751-0617

4月4日(月) 19:00 いづみホール  
奥田一夫コンサートラバシラリサイタル  
—MOLT BASSISSIMO—もっともっとバスらしく  
Pf:児嶋一江 Vn:玉井菜採 Va:竹内晴夫 Vc:向山佳絵子  
曲目:ポツェーニ:ヴァイオリンとコントラバスのための大二重奏曲、ホフマイスター:独奏コントラバスとヴァイオリン、ヴィオラ、チェロのための四重奏曲、ロッシニ:チェロとコントラバスのための二重奏曲、タパコフ:モティヴィー、チボー:イントロダクション、主題と変奏ほか  
入場料:¥4,500 (当日指定)  
《問》大阪アーティスト協会 06-6135-0503

4月15日(金) 19:00 京都府立文化芸術会館  
ミロア弦楽四重奏団 室内楽友の会 298回例会  
Vn:ステファニー・モーロ、安紀・ソリエール Va:ニコラ・ボン Vc:ネティン・ビエール  
曲目:未定 入場料:¥3,800  
《問》京都府立文化芸術会館 075-222-1046

4月16日(土) 15:00 京都府立府民ホール アルティ  
ベートーヴェンとの対話 四方恭子Vn・河野文昭Vc・河野美砂子Pfによる ベートーヴェン・ピアノトリオ全曲演奏会 第1回  
曲目:ベートーヴェン:ピアノ三重奏曲第1番変ホ長調 op.1-1、ピアノ三重奏曲第2番ト長調 op.1-2、ピアノ三重奏曲第3番ハ短調 op.1-3  
入場料:¥3,500 当日¥4,000 3公演セット券¥10,000  
《問》エラート音楽事務所 075-751-0617

4月20日(水) 19:00 イシハラホール  
イシハラ リリックアンサンブル演奏会  
Vn:堀正文 四方恭子 景山誠治、漆原啓子、漆原朝子、玉井菜採、中島慎子、瀬崎明日香、大宮臨太郎 Va:篠崎友美、中竹英昭、佐々木亮 Vc:上村昇、藤森亮一、池村佳子 Cb:吉田秀 Cem:森島英子  
曲目:J.S.バッハ:2つのヴァイオリンのための協奏曲ニ短調 BWV1023 (Vn:漆原啓子、漆原朝子)、ハイドン:チェロ協奏曲第1番ハ長調 Hob.VIb-1 (Vc:藤森亮一)、シューベルト:弦楽五重奏曲ハ長調 D.956、メンデルスゾーン:弦楽のための交響曲第10番ハ短調  
入場料:¥6,000  
《問》イシハラホールチケットセンター 06-6444-5875

4月21日(木) 19:00 いづみホール  
大阪シンフォニー交響楽団 第13回 いづみホール定期演奏会〜古典派の現在  
指揮:ヨハネス・レーアタワー Vc:金子鈴太郎  
曲目:モーツァルト:セレナード 第6番ニ長調 K.239「セレナータ・ノットゥルナ」、ハイドン:チェロ協奏曲第1番ハ長調、ハイドン:交響曲第103番変ホ長調「大鼓連打」  
入場料:S ¥4,000 A ¥3,000 学生 ¥1,500  
《問》大阪シンフォニー交響楽団 072-226-5522

4月23日(土) 19:00 ザ・フェニックスホール  
宇宿真紀子Pf & 宇宿直哉Vcピアノ・チェロジョイントリサイタル〜フランスからの贈り物〜  
曲目:フォーレ:ロマンス イ長調 op.69、バッハ:無伴奏チェロ組曲第1番ト長調、ラヴェル:水の戯れ、メンデルスゾーン(ラフマニノフ編):「真夏の夜の夢」よりスケルツォ、ショパン:アンダンテスピナートと華麗なる大ポロネーズ、チェロとピアノのためのソナタト短調 op.65  
入場料:¥3,000 学生 ¥1,500 (全自由) (TC)  
《問》ヤマハミュージック神戸 078-391-7654

4月23日(土) 15:00 金剛能楽堂  
J.S.バッハ 無伴奏チェロ組曲演奏会 第7回 山本祐ノ介  
曲目:J.S.バッハ:無伴奏チェロ組曲第2番ニ短調、第4番変ホ長調、第6番ニ長調  
入場料:¥3,000/当日 ¥3,500  
65歳以上・学生 ¥2,500/当日 ¥3,000  
《問》エラート音楽事務所 075-751-0617

4月27日(水) 19:00 津田ホール  
香りたつ森林のコンサート第12回 金木博幸 Vcリサイタル  
曲目:J.S.バッハ:無伴奏組曲BWV1007、R.シュトラウス:ソナタop.6、ベートーヴェン:ソナタ第5番、ショスタコーヴィチ:ソナタop.40  
入場料:¥4,000  
《問》プラザ18 03-5454-43754

5月13日(金) 19:00 ザ・シンフォニーホール  
ヨヨー・マチェロ・リサイタル  
曲目:J.S.バッハ:無伴奏組曲第4番・第2番・第6番  
入場料:¥16,000~7,000  
《問》ABCチケットセンター 06-6453-6000

5月14日(土) 15:00 イシハラホール  
堤剛Vc & 高橋悠治Cemデュオリサイタル  
曲目:J.S.バッハ:3つのヴァイオリン・ダ・カンパ・ソナタ第1番ト長調 第2番ニ長調 第3番ト短調、J.S.バッハ:無伴奏

奏チェロ組曲第2番ニ短調、J.S.バッハ:フランス組曲第1番ニ短調  
入場料 ¥5,000  
《問》イシハラホールチケットセンター 06-6444-5875

5月16日(月) 19:00 サントリーホール  
ヨヨー・マチェロ・リサイタル  
曲目:J.S.バッハ:無伴奏組曲第1番・第5番・第3番  
入場料 ¥15,000~6,000  
《問》ミュージックプラント 03-3466-2258

5月17日(火) 19:00 サントリーホール  
ヨヨー・マチェロ・リサイタル  
曲目:J.S.バッハ:無伴奏組曲第4番・第2番・第6番  
入場料 ¥15,000~6,000  
《問》ミュージックプラント 03-3466-2258

5月21日(土) 16:00 神戸新聞松方ホール  
ミハル・カニユカVc & 伊藤ルミPf スーパーデュオ  
曲目:ラフマニノフ:チェロ・ソナタト短調 op.19、カザルス:鳥の歌、サン=サーンス:チェロ・ソナタ第1番ハ短調 op.32ほか  
入場料 ¥3,500/当日 ¥4,000 学生 ¥2,000  
《問》神戸新聞松方ホール 078-362-7191

5月26日(木) 19:00 紀尾井ホール  
アルバン・ベルク 四重奏団 & ハインリヒ・シフVc  
曲目:シューベルト:弦楽四重奏曲D.87、弦楽五重奏曲D.956、ハウエンストック=ラマティ:弦楽四重奏曲第2番  
入場料 ¥7,000~6,000  
《問》カンモト・イーラス 03-5749-9960

5月27日(金) 14:00 ザ・フェニックスホール  
ティータイムコンサートシリーズ48  
山崎伸子 & 若林顕デュオリサイタル  
Vc:山崎伸子 Pf:若林顕  
曲目:バッハ:無伴奏チェロ組曲第3番、ショパン:夜曲ポロネーズ、舟歌、華麗なるポロネーズ、ラフマニノフ:チェロソナタト短調作品19  
入場料 ¥2,500 (全指定) ¥1,000 (学生指定)  
《問》ザ・フェニックスホールチケットセンター 06-6363-7999

5月29日(日) 15:00 青山音楽記念館 (パロクザール)  
室内楽の楽しみ デュオとトリオの午後  
Vn:谷口朋子 Vc:元井あづさ Pf:市川和子  
曲目:ヘンデル(ヘルヴェール編曲):ヴァイオリンとチェロのためのソナタ、ハイドン:ピアノ三重奏曲第25番ト長調 HX.v25 op.39、ベートーヴェン:ピアノ三重奏曲第7番変ホ長調 op.97「大公」  
入場料 ¥2,000  
《問》青山音楽記念館 075-393-0011

5月31日(火) 19:00 イシハラホール  
アルバン・ベルク 四重奏団 演奏会  
曲目:シューベルト:弦楽四重奏曲第2番ハ短調「四重奏断章」、シューベルト:弦楽四重奏曲第4番ニ短調「死と乙女」、ベルク:抒情組曲  
入場料 ¥7,000  
《問》イシハラホールチケットセンター 06-6444-5875

## 編集後記

久しぶりの発行となります。ようやく第5号をお届けします。各地で5月のコンサートに向けて分業が行なわれていますが、一つの悲しい出来事がありました。本誌创刊号で編集長として活躍、また日韓合同チェロ演奏会でもエネルギーに活動された横濱の沖正哉さんが2月6日に永眠されました。葬儀にはたくさんの方々が訪れ、旅立ちを見送りました。冥福をお祈り申し上げます。

★どうにもこうにも收拾がつかないほど多忙を極め、今回はほとんどお手伝いできず仕舞いで、編集のお二人にご迷惑をおかけしました。情報をご案内しておきながら、自分自身、練習する時間も見つけられず、残念ながら「1000人のチェロ・コンサート」にも出場できずもありません。でも愛する音楽への真摯な姿勢はいつも保ち続けていたと思います。また別の形でどこかで皆さんとお会いできますように。(神戸/田畑久美子)

★本業の弦楽器専門誌「サラサレー」編集作業に追われながらも、なんと5月の神戸に辿り着こうと目下、意欲的に仕事をこなしているところです。「1000人のチェロ・コンサート」に限らず、世界中から集まる素晴らしいアーティストたちへのインタビューなど、会期中でできるだけのことをしたいと思案中。それにしてもICCの素晴らしい企画の連続には目を丸くしています。みなさんとの出逢いも楽しみです。(川崎/新 巳喜男)

★今号は、5月に開催のICCの特集です。もう二度とできないのではないかとと思われるような素晴らしい企画がいくつかあります。できる限り、皆さんの催しに参加したく、休暇を取るために画策しています。このたび、石岡理事の後任で、理事と編集委員の両方を引き継ぐことになりました。まだまだ未熟で、新・田畑両氏に大変ご迷惑をおかけしました。次回からは、足を引っ張らないようがんばりたいと思っています。よろしくお願ひします。(笠岡/中村幸太郎)